

2018年9月11日
日本広報学会
理事長 小早川 護

日本広報学会 第24回研究発表全国大会 開催のご案内

協力:経済広報センター、日本パブリックリレーションズ協会、公共コミュニケーション学会、
地域活性学会、東京都市大学総合研究所未来都市研究機構

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、24回目を迎えた研究発表全国大会は、以下のご案内の通り10月27日(土)、28日(日)の日程で、東京・世田谷区の東京都市大学等々力キャンパスにて開催いたします。

会員皆様におかれましては、統一論題に限らず、広い視点から広報・コミュニケーションに関連する研究成果をご披露いただければと存じます。企業、自治体、教育機関、NGO/NPO など、それぞれの組織体(コーポレート)を円滑に運営するためのコミュニケーション戦略はいかにあるべきか。各分野の碩学の皆様方、教育・研究機関に属する若手研究者、企業や自治体等専門組織に在籍する実務家・専門職の皆様などに奮ってご参加・ご発表をいただきたいと存じます。

1. 統一論題

「未来都市とコミュニケーション ―地域の調和を実現する企業・行政・市民・メディアの役割―」

<趣旨>

世界の地政学的なバランスが大きく変動するなか、我が国においても経済成長の枠組みの再構築が図られています。2020年にはオリンピックが予定され、これに向けた各方面の活動が活発化しています。一方でポストオリンピックのビジョンは未だ明確に描かれてはいないのが現状です。

先進国では人口の70~80%が都市に居住していると言われていています。国際関係のみならず、新たな経済枠組みや少子化などの現代的な課題の多くは、都市の問題として捉えることができると言えましょう。都市は建物や街路だけでできているものではありません。そこで活動する人間と、都市活動を推進していくシステムが存在しなければ、都市は空虚な「箱」でしかありません。一方コミュニケーションの形態は、各種技術やメディアの劇的な進歩とともに、地理的、時間的な制約をはるかに超えてグローバルに拡大しました。そこにはもはや「都市」という枠にとらわれない、広大な世界が存在するようにも見えます。

しかし、コミュニケーションの本質は単なる意思伝達ではなく、他者に働きかけ、情報を共有し、何らかの態度変容を促すものであるはずで、すなわち、その結果として人間行動という実体を伴わなければ、やはり空虚な「ヴァーチャルツール」でしかないということも言えるでしょう。つまり、コミュニケーションの成果が実体として現れ、人々の活動という成果が発現される場が「都市」であると言えるでしょう。

「未来都市」においては、手段としてのコミュニケーションのみならず、その「実体性」も問われることとなります。都市における企業・行政・市民・メディアの視点から、この関係を解き明かすことによって、実体のある生きたコミュニケーションが生まれ、地域の調和の実現に繋げることができるのではないかと、という問題意識から今大会の統一論題を設定いたしました。会員の皆様方の活発なご議論を期待いたします。

2. 会期: 2018年10月27日(土) 10:30~20:00(懇親会を含む)
28日(日) 9:00~16:00

3. 会場: 東京都市大学等々力キャンパス
〒158-8586 東京都世田谷区等々力8-9-18
東急大井町線「等々力(東京都市大学 等々力キャンパス前)」駅下車 徒歩 10分

4. 会場案内図

◎東京都市大学等々力キャンパス

東急大井町線「等々力(東京都市大学 等々力キャンパス前)」駅下車 徒歩 10分



5. 全体スケジュール (※別紙詳細プログラムをご覧ください。)

A会場： 2号館1F213教室 B会場： 2号館2F224教室 C会場： 2号館 2F225教室
 D会場： 2号館3F234教室 E会場： 2号館3F235教室

10月27日(土)【1日目】

開始時刻	内容	会場
10:00	受付開始	2号館 1F ホール
10:30	開会式	A会場
10:40	ポスターセッション口頭案内	A会場
11:10	ポスターセッション説明および投票	2号館1F ホール
11:10	ポスター展示	2号館1Fホール
12:10	昼食	3号館地下食堂
	<統一論題シンポジウム>	
13:30	基調講演： 「都市のイノベーションとコミュニケーション - 東急電鉄の沿線経営戦略-」 東浦亮典(東急電鉄株 執行役員 都市創造本部 運営事業部長)	A会場
14:30	事例報告： 「地域の賑わい創造とバッドロケーション戦略 - 街灯り人が遊びて生まれけん-」 佐藤裕久(株)バルニバービ 代表取締役社長)	A会場
15:10	休憩	
15:20	パネルディスカッション： 「未来都市とコミュニケーション - 地域の調和を実現する企業・行政・市民・メディアの役割-」 <コーディネーター> 永江総宜(東京都市大学・都市生活学部・教授) <パネリスト> ・澤田伸(渋谷区副区長) ・鷲尾和彦(株)博報堂・「生活圏 2050」プロジェクトリーダー) ・堀健一(株)三菱総合研究所・地域創生事業本部地域づくり戦略グループ・グループリーダー) ・川口和英(東京都市大学・未来都市研究機構長・都市生活学部長・教授)	A会場
17:30	学会賞・表彰式	A会場
18:00	懇親会	3号館地下食堂

10月28日(日)【2日目】

開始時刻	内容	会場
9:00	統一論題・自由論題 *詳細は別紙プログラム参照	B, C, D, E会場
12:00	休憩	
12:10	<p>●ランチョンセッション(共催:㈱電通パブリックリレーションズ):</p> <p>*弁当付き(弁当は、事前にお申込みください)</p> <p>「イノベーション政策課題とパブリックアフェアーズ」</p> <p>阪井完二、末次祥行、長濱憲(電通パブリックリレーションズ・企業広報戦略研究所)</p>	A会場
13:10	休憩	
13:20	<p>●東京都市大学未来都市研究機構共催セッション:</p> <p>テーマ:「地域の交響と都市ブランディング」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北見幸一(東京都市大学)「1万人生活者調査と都市のブランド戦略」 ・西山敏樹(東京都市大学)「高山市の『あたかも大学』の取り組みと都市大との連携」 ・中島伸(東京都市大学)「公民学連携によるアーバンデザインの実践とコミュニケーション」 <p>ディスカッサント: 河井孝仁(東海大学)</p>	A会場
	<p>●組織論と人材論セッション:</p> <p>テーマ:「広報研究における組織論と人材論を考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊吹勇亮(京都産業大学)「広報における『役割』と広報教育:日本における応用に向けて」 ・須田比奈子(北海道大学)「対境担当者間の協働の必要性を高める環境要因が広報部門の組織内活動と企業メッセージに及ぼす影響に関する考察」 ・宮部潤一郎(北海道大学)「PR技術と自社事業の深い理解のどちらが重要かー日本企業のPRマネジャーの可能性についての一考察」 <p>ディスカッサント: 山村公一 (TSコミュニケーション/早稲田大学)</p>	B会場
	<p>●研究部会セッション</p> <p>テーマ:「人を活かすIC経営でベネフィットを生み出す ~20社の実践から見てきた経営施策とコミュニケーション手法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井垣勉(オムロン・執行役員) ・伊東由理(リクルートホールディングス・元広報部 部長) ・柴山慎一(社会情報大学院大学) その他(交渉中) <p>コーディネーター: 清水正道(筑波学院大学)</p>	D会場
15:20	休憩	
15:30	閉会式、次回開催校挨拶	A会場

6. 統一論題、自由論題の研究発表について

- (1) 口頭発表は質疑応答を含み30分です。原則、発表 20 分、質疑 10 分でお願いします。
- (2) 本大会での発表は、他学会も含めて未発表のものに限ります。学会誌『広報研究』への論文等投稿とは直接関係ありませんので、『広報研究』投稿と同一テーマの発表も差し支えありません。
- (3) 大会で優れた発表をされた報告者に対しては、学会誌への投稿をお願いする場合があります。

7. ポスターセッション発表について

- (1) ポスターセッション発表は、A0判ポスターを貼る展示パネルを用意します。
- (2) ポスターは各自ご準備ください(PPTなどでも構いません)。事務局、大会運営委員会では印刷いたしません。
- (3) ポスターは第1日目10月27日(土)10:30までに掲示を行ってください。ポスター発表の口頭案内を第1日目10:40～11:10で開催します。第1日目の11:10～12:10で説明いただき、その場で会員の皆様に投票を行っていただきます。投票結果は、第1日目の懇親会で発表いたします。
- (4) 昼食後、ポスターは第1日目10月27日(土)18:00までに各自撤収してください。

8. 口頭発表、ポスター発表の発表者の応募資格

口頭発表に応募される方は、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- (1) 2018年6月6日現在、日本広報学会の会員、法人会員代表、法人会員登録者。ただし、2017年度までの年会費に未納がないこと。
- (2) 2018年9月1日までに日本広報学会の入会申込書を事務局に提出し、2018年度分の会費を納入した者。

ポスター発表は学会員でなくても応募できます。学部、修士課程の学生、企業・実務家の方の応募を歓迎します。ただし、他のセッションの講演等を聞かれる場合は、必ず参加料をお支払いの上、ご参加ください。

9. 昼食・ランチョンセッションについて

- ・10月27日(土)の昼、弁当は手配いたしません。3号館地下の学生食堂をご利用ください。近隣のコンビニエンスストア等までは5分ほど歩きます。
- ・10月28日(日)の昼は、弁当付きのランチョンセッションを開催する予定です。必ず、あらかじめ別紙「第24回研究発表全国大会<参加>申込書」にて事前に申し込んでください。なお、事前に申し込まなかった場合は、弁当をご用意できないことがありますので、あらかじめご了解ください。また、ランチョンセミナーに参加されない場合は、各自で昼食のご用意をお願いします。
- ・ランチョンセッションは、共催企業受付にて、名刺と弁当を交換いたします。なお、共催企業より、メールあるいはDM等でご連絡させていただく場合があることをご了解ください。

10. 大会の参加費・懇親会費等の申込要領

大会参加申込は別紙「第24回研究発表全国大会<参加>申込書」に必要事項を記入の上、所定の期日までにFAX・メールにて学会事務局にご提出ください。

- (1) 参加費・懇親会費：納入期日：9月30日（日）までの前納と、それ以降および大会会場における当日納入を選択してください。

		前納(9月30日)	当日
会員・非会員	参加費	5,000円	6,000円
	懇親会費	5,000円	6,000円
学生会員	参加費	2,500円	3,000円
	懇親会費	2,500円	3,000円

- (2) 振込み先は以下の通りです。

銀行振込：みずほ銀行丸之内支店／普通口座 2453666／口座名義 日本広報学会

郵便振替：口座番号 00150-6-540368／加入者名 日本広報学会

※複数名での同時振込は、明細が不明になりますので、ご遠慮願います。

※法人会員代表でない登録者のお振込みに際しては、個人名を先頭に記入(入力)してください。

※振込手数料は本人のご負担とさせていただきます。

- (3) 領収書：希望者には当学会発行の領収書(個人会員は個人名、法人会員代表・登録者は法人名)を発行しますので、事務局までお知らせください。

- (4) 予稿集は、学会 HP にて電子ファイル(PDF)で配布します。各自ダウンロードしてください。PDF のパスワードは別途ご案内いたします。紙で印刷したものをご希望の方は、1部 1,000 円で販売します。

11. 宿泊先

宿泊先は各自でご手配ください。

- ・東急大井町線等々力駅には、ホテル等の宿泊施設はございません。会場に近い渋谷周辺での宿泊をお勧めいたします。なお、近年、ホテルの予約が非常に取りにくくなっておりますので、早めにご予約下さい。

12. その他

- ・大会プログラム・パンフレットの印刷・事前配布はしません。
- ・予稿集は、学会 HP にて電子ファイル(PDF)で配布します。各自ダウンロードしてください。PDF のパスワードは別途ご案内いたします。紙で印刷したものをご希望の方は、1部 1,000 円で販売します。
- ・プログラムの詳細は別紙「日本広報学会第 24 回研究発表全国大会 プログラム」をご覧ください。

<本件のお問い合わせ・ご連絡先> 日本広報学会事務局

〒169-8518 東京都新宿区高田馬場 1-25-30 社会情報大学院大学内

TEL 03-5283-1104 FAX 03-5283-1123

E-mail: jscsty@gamma.ocn.ne.jp

※ 当学会ホームページで最新情報を掲示します。ホームページアドレス：<http://www.jscs.jp>